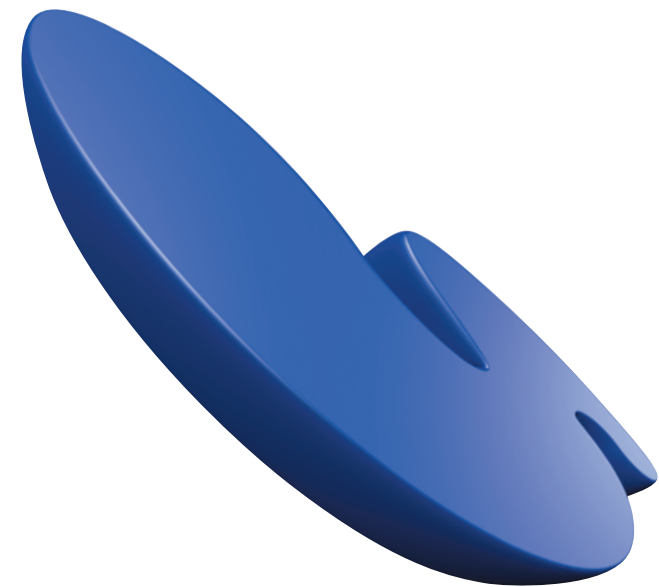


STYLOS *User Guide*

STYLOS Ver.2.5.3 差分マニュアル



STYLOS

NEW GENERATION VECTOR ANIME TOOL

RETAS STUDIO is a graphic software which brings epoch-making progress for the animation fields
having been in analog technique so far into the digital realm.

Various functions and easy operation tools bring you the highest quality and efficiency that respond to professionals' strict demands.

Using this software, you can express your own imagination world just easily.

RETAS STUDIO is the professional standard software for creation of animation project.

▶ 本書をお読みにする前に



■操作表記について

本書の操作表記は、特に断りがない限り Windows 版で記載されています。
Mac OS X 版については、下記の通りに読み替えてください。読み替えることで、Windows と MacOS X で操作上同じ意味を持ちます。

Windows	Mac OS X
[Alt] キー	[Option] キー
[Ctrl] キー	[Command] キー
[Enter] キー	[Return] キー
[Backspace] キー	[Delete] キー
マウスボタンを右クリック	[Control] キーを押しなが らマウスボタンをクリック

■注意表記について

本文の末尾などに、その操作に関連する事柄などについて、記号を付記して解説しています。

 注意：	RetasStudio の操作を行ううえで、間違えやすい項目や、気をつけるべきことが書かれています。
 POINT	RetasStudio の操作を行ううえで、操作の参考になることや、補足説明などが書かれています。

■掲載画像について

本書に掲載されている画像は、開発中のものが含まれています。実際とは異なる場合がございますのでご了承ください。

本書をお読みにする前に 2

Step:01 タイムシート 4

タイムシートウィンドウの各部の名称 4
 タイムシートウィンドウのリサイズ動作 5
 タイムシートの新規作成 6
 タイムシートから画像を表示 6
 タイムシートのモーションチェック 7
 セル番号の自動入力 7
 撮影指示のテキスト入力 8
 フレーム（行）の編集 9
 CSV 形式でタイムシートを書き出す 11
 作画用タイムシートの印刷設定 12

Step:02 ファイルブラウザ 14

画像の閲覧（セルバンク） 14
 レイヤーのスクロールを連動させる 15

Step:03 用紙とフレーム 16

用紙の設定ダイアログ 16

Step:04 作画・チェック 17

表示セルのモーションチェック 17

Step:05 その他の新機能 18

ライトテーブルの画像を削除 18
 環境設定ダイアログ 18
 カットフォルダの新規作成 19

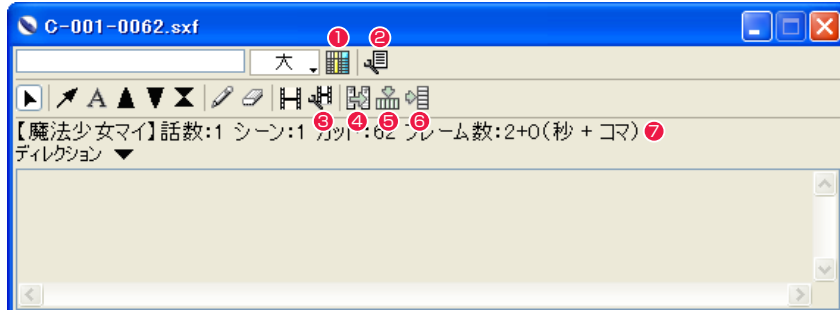
Step: タイムシート

01

タイムシートに追加・修正された新機能を説明します。基本的な操作の詳細は、「STYLOS ユーザーガイド」の第3章「RETAS STUDIO の基本」→「step:02 タイムシート」を参照してください。

▶ タイムシートウィンドウの各部の名称

タイムシートウィンドウに、下記の機能が追加されました。



- 1 表示欄切り替え**
タイムシートの各欄の表示・非表示を切り替えるメニューが、ポップアップ表示されます。[タイムシート]メニュー→[表示]→[欄]を選択すると表示されるサブメニューと同じものです。
- 2 タイムシート設定**
[タイムシート設定]ダイアログが表示され、基本設定、作品情報などの設定を変更できます。
- 3 モーションチェック設定**
[モーションチェック設定]ダイアログが表示され、モーションチェックを実行する際の詳細な設定を行えます。
- 4 動画番号の転記**
原画欄に入力した原画番号と中割り記号を、動画欄に動画番号として自動転記します。
- 5 レイヤー**
レイヤーの挿入、削除、入れ替え、レイヤー名の変更ができます。[タイムシート]メニュー→[レイヤー]を選択すると表示されるサブメニューと同じものです。
- 6 フレーム**
フレームの挿入、削除ができます。[タイムシート]メニュー→[フレーム]を選択すると表示されるサブメニューと同じものです。
- 7 基本情報**
タイムシートに設定されている、作品名、話数、シーン、カット、フレーム数などの情報を表示します。[表示欄切り替え]のメニューから表示・非表示を切り替えられます。

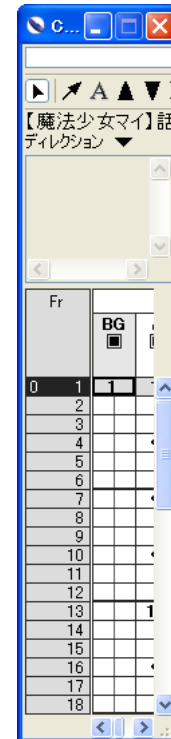
▶ タイムシートウィンドウのリサイズ動作

タイムシートウィンドウのリサイズの動作を変更できるようになりました。
[環境設定]ダイアログ→[タイムシート]→[原画・動画レイヤーごとにスクロールする]をオフにすると、タイムシート上のレイヤーの列に関係なく、ウィンドウのサイズを変更できます。



注意:

- ・タイムシートを閉じて再度開く、または新規のタイムシートから、設定の変更が適用されます。
- ・[環境設定]ダイアログの詳細は、「step:05 その他の新機能」→「環境設定ダイアログ」を参照してください。



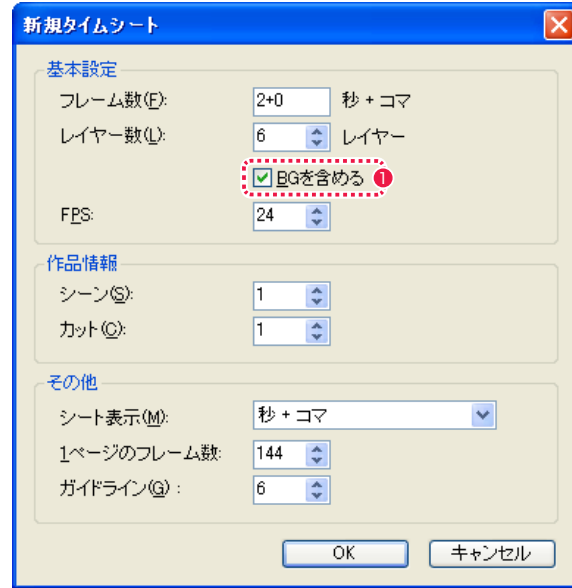
[原画・動画レイヤーごとにスクロールする]: オフ
レイヤーの列に関係なく、ウィンドウのサイズを変更します。



[原画・動画レイヤーごとにスクロールする]: オン
原画・動画欄のレイヤーの列ごとに、ウィンドウのサイズを変更します。

▶ タイムシートの新規作成

[新規タイムシート]ダイアログに、[BGを含める]チェックボックスが追加されました。

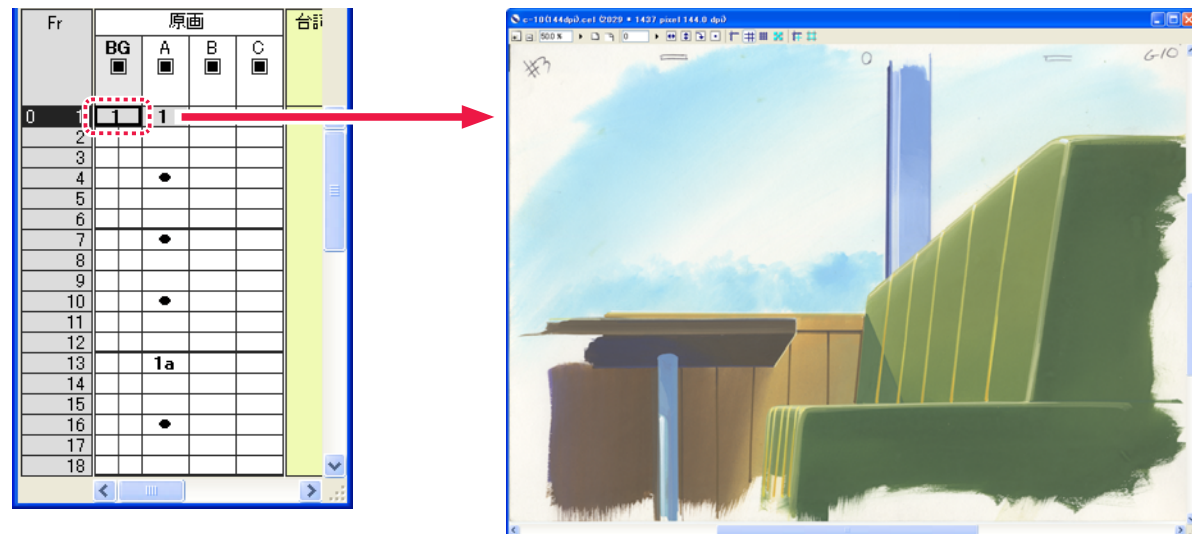


1 BGを含める

オンにすると、[レイヤー数]に入力した数に[BG]レイヤーを含めて、レイヤーを作成します。[BG]レイヤーはBG=背景画像が登録されます。図のように「6」を入力した場合、[BG]レイヤーと[A]・[B]・[C]・[D]・[E]レイヤーが作成されます。

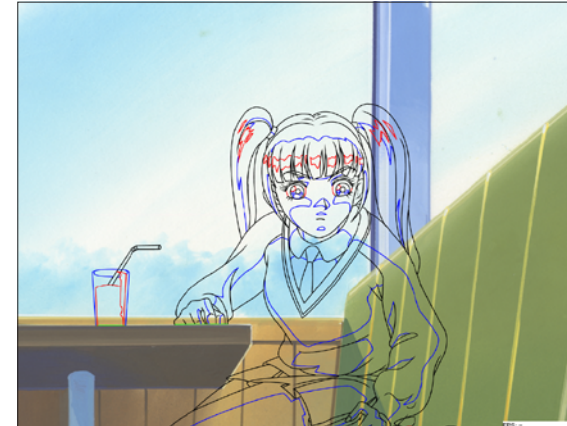
▶ タイムシートから画像を表示

[作画カットフォルダ]に格納されているタイムシートの、[原画]欄・[動画]欄でグレー表示されているセル番号をダブルクリックすると、登録されている画像が[セル]ウィンドウに表示されます。[BG]レイヤーの画像も表示されるようになりました。



▶ タイムシートのモーションチェック

[作画カットフォルダ]に格納されているタイムシートでモーションチェックを実行するとき、[BG]レイヤーがある場合は、[BG]フォルダの画像を読み込むようになりました。



[BG]フォルダの画像を読み込んだ例

セルに描かれた人物の画像とBG(背景)との関係が分かります。組線作画のときの位置確認などができます。

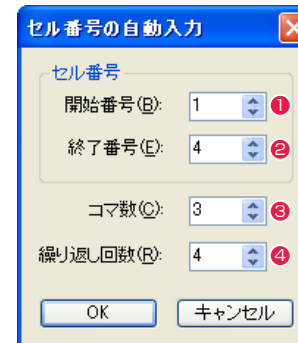


[BG]フォルダの画像を非表示にした例

BG(背景)の画像が不要な場合は、タイムシートのセルレイヤースイッチをクリックすると非表示になります。

▶ セル番号の自動入力

[タイムシート]メニューに[セル番号の自動入力]を追加しました。選択すると、[セル番号の自動入力]ダイアログが表示されます。例えば「1コマ打ちで1~100まで」など、入力するのが大変な場合の入力支援機能です。



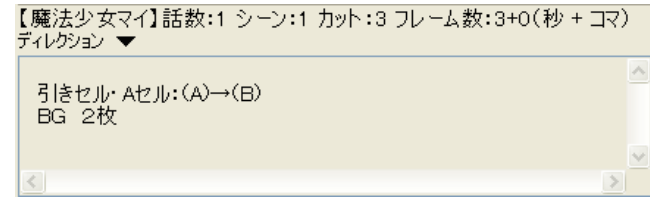
- 1 開始番号
入力を開始するセル番号を指定します。
- 2 終了番号
入力を終了するセル番号を指定します。
- 3 コマ数
何コマ打ちにするかを指定します。
- 4 繰り返し回数
開始番号から終了番号までの入力を、何回繰り返すかを指定します。「0」に指定すると、選択範囲全てに入力されます。

Fr	原画		
	BG	A	B
0	1	1	
2			
3			
4			2
5			
6			
7			3
8			
9			
10			4
11			
12			
13			1
14			
15			
16			2
17			
18			
19			3
20			
21			
22			4
23			
24			

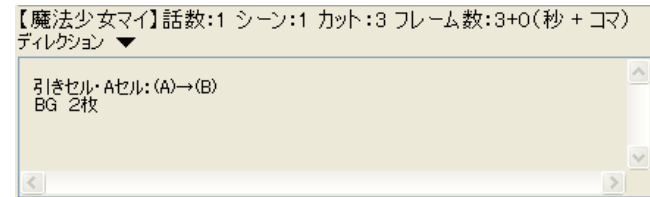


▶▶ 撮影指示のテキスト入力

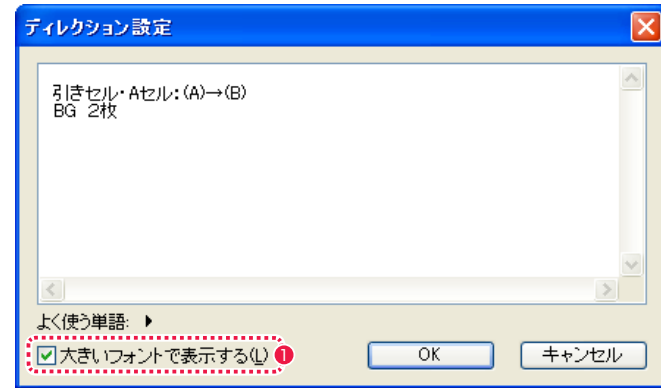
作業上の注意事項などを記入する [ディレクション] 欄の文字のサイズを、大きいサイズに切り替えられるようになりました。



大きいサイズ



従来のサイズ



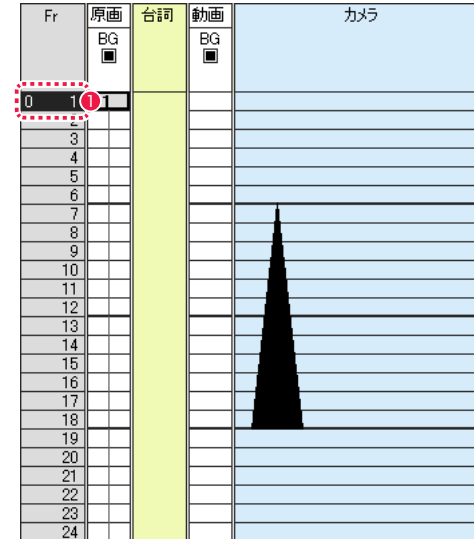
- 1 大きいフォントで表示する
オンにすると、[ディレクション] 欄に表示される文字が大きいサイズに切り替わります。

▶▶ フレーム (行) の編集

タイムシートのフレームを挿入・削除した場合に、指示記号が連動して動くようになりました。

フレームの挿入

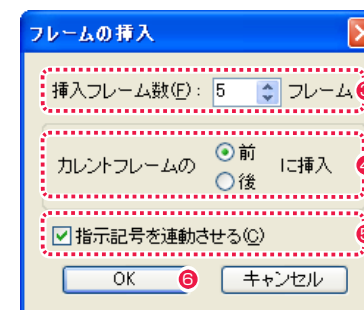
以下の手順でフレームを挿入します。



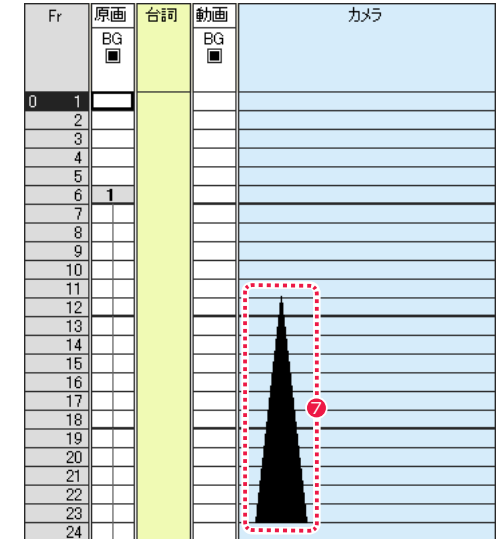
- 1 挿入したい箇所の後のフレームを選択します。



- 2 タイムシートの [フレーム] ボタンをクリックし、[挿入 ...] を選択します。



- 3 [フレームの挿入] ダイアログで挿入フレーム数と挿入位置の指定を行います。ここでは [挿入フレーム数] 入力欄に「5」を入力します。
- 4 選択したフレームに対して、前後のどちらにフレームを挿入するかを、ラジオボタンをクリックして選択します。
- 5 [指示記号を連動させる] チェックボックスをオンにします。
- 6 [OK] ボタンをクリックすると、指定位置にフレームが挿入されます。



- 7 フレームの挿入に連動して、指示記号が5フレーム分移動します。

フレームの削除

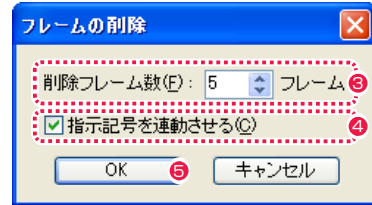
以下の手順でフレームを削除します。

Fr	原画	台詞	動画	カメラ
0	BG		BG	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

① 削除したい箇所の先頭のフレームを選択します。



② タイムシートの [フレーム] ボタンをクリックし、[削除...] を選択します。



③ [フレームの削除] ダイアログで削除フレーム数の指定を行います。ここでは [削除フレーム数] 入力欄に「5」を入力します。

④ [指示記号を連動させる] チェックボックスをオンにします。

⑤ [OK] ボタンをクリックすると、フレームが削除されます。

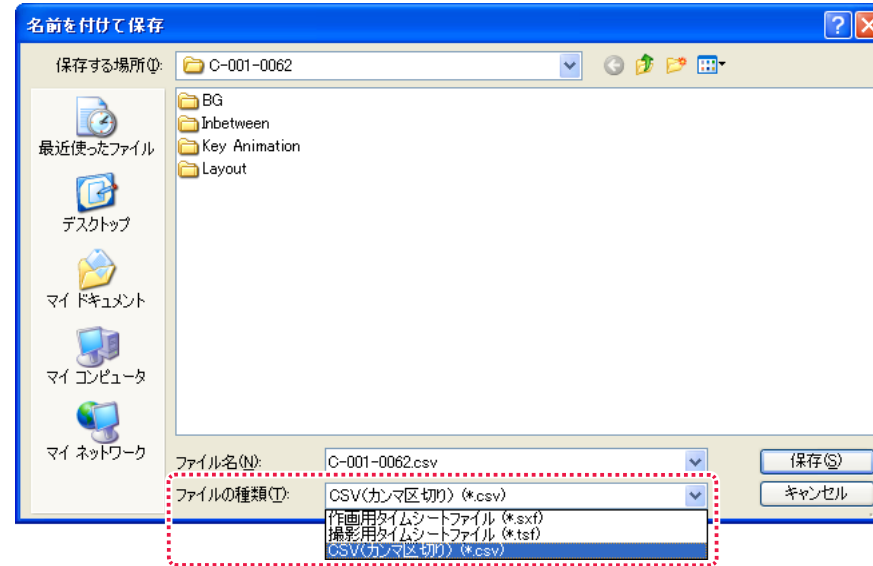
Fr	原画	台詞	動画	カメラ
0	BG		BG	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

⑥ フレームの削除に連動して、指示記号が5フレーム分移動します。

▶ CSV形式でタイムシートを書き出す

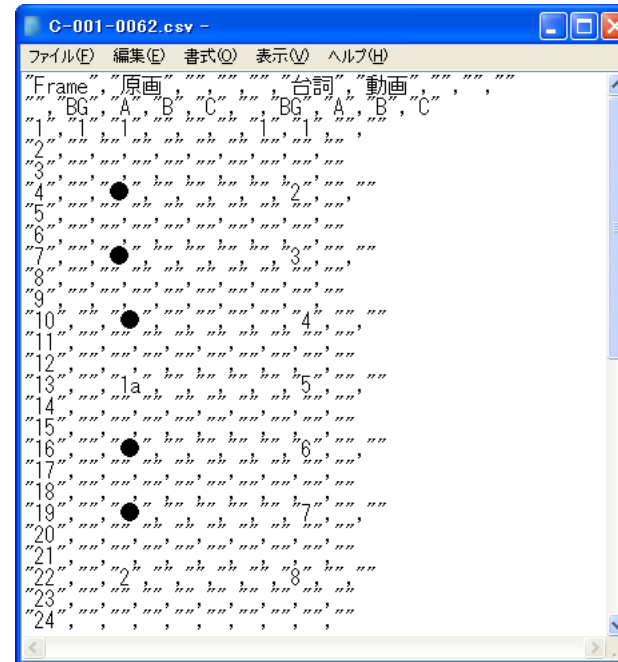
作画用タイムシート (*.sxf) を、CSV(カンマ区切り)形式に変換して保存できるようになりました。CSV形式のタイムシートは、テキストエディタや表計算ソフトなどで閲覧できます。

注意:
CSV形式で書き出したタイムシートは、RETAS STUDIOでは開けません。



作画用タイムシート (*.sxf) が開いている状態で、[ファイル]メニューから [別名で保存...] を選択します。[名前を付けて保存] ダイアログの [ファイルの種類] で [CSV(カンマ区切り)(*.CSV)] を選択すると、CSV(カンマ区切り)形式に変換して保存されます。

テキストエディタで表示したタイムシート



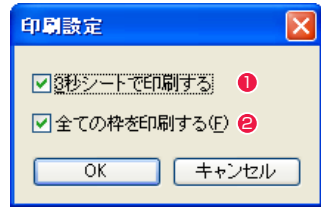
1 行目: 「Frame」「原画」「台詞」「動画」のキャプション
2 行目: レイヤー名
3 行目以下: 各フレーム毎の情報

中割り記号などは「○」「●」「×」で出力されます。
全ての情報は「」で括られて、「」で区切られます。

▶▶ 作画用タイムシートの印刷設定

作画用タイムシートを印刷する場合のレイアウト設定を変更できるようになりました。

作画用タイムシート (*.sxf) が開いている状態で、[ファイル]メニュー→[印刷設定...]を選択すると、作画用タイムシートの[印刷設定]ダイアログが表示されます。



① 3秒シートで印刷する

オンにすると、1ページあたり72フレーム(3秒)区切りで印刷します。

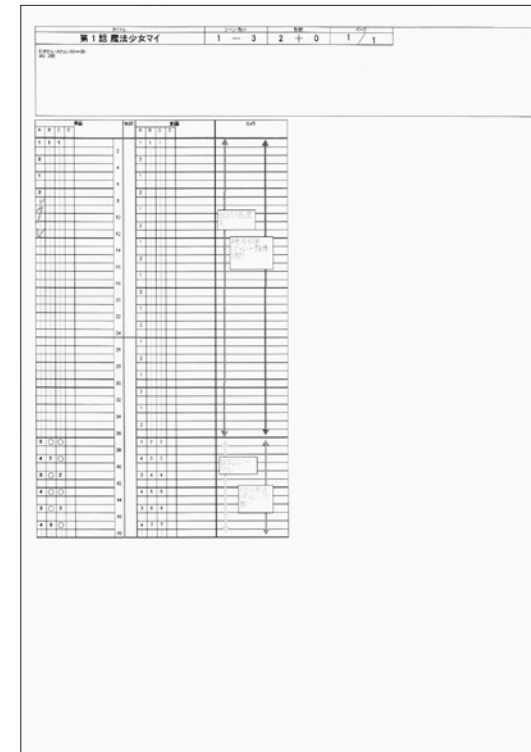
② 全ての枠を印刷する

オンにすると、必要なフレーム数に関係なく、ページの最後まで枠が印刷されます。必要な最終フレームの下には太いラインが引かれます。

POINT ▶▶▶

[3秒シートで印刷する]と[全ての枠を印刷する]の両方をオンにすると、1ページあたり72フレーム(3秒)区切りでページの最後まで枠が印刷され、必要な最終フレームの下には太いラインが引かれます。

[3秒シートで印刷する]と[全ての枠を印刷する]の両方をオフにすると、タイムシートに記載されている範囲のみ印刷され、最終フレームの下線の太さは通常のページ区切りと同じになります。詳細は、次ページの印刷見本画像を参照してください。



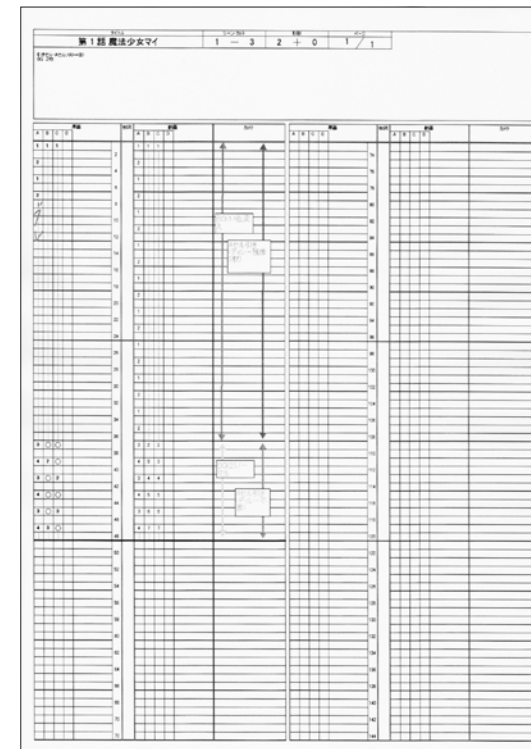
[3秒シートで印刷する]: オフ

[全ての枠を印刷する]: オフ



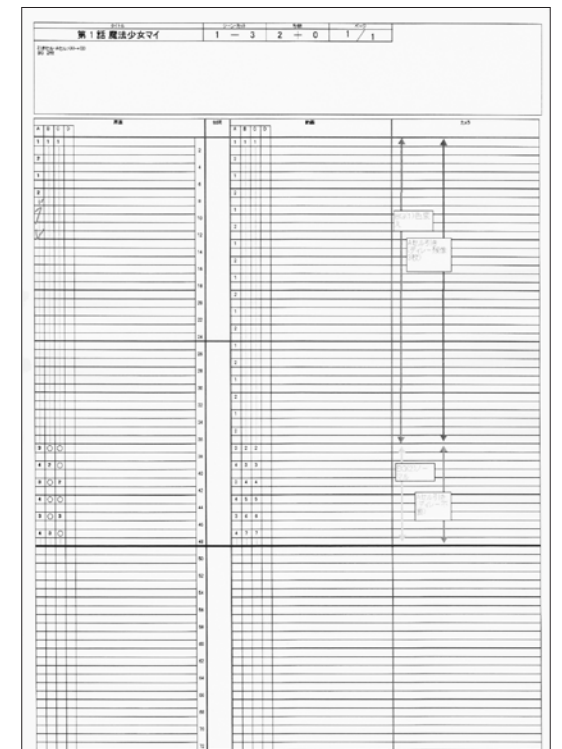
[3秒シートで印刷する]: オン

[全ての枠を印刷する]: オフ



[3秒シートで印刷する]: オフ

[全ての枠を印刷する]: オン



[3秒シートで印刷する]: オン

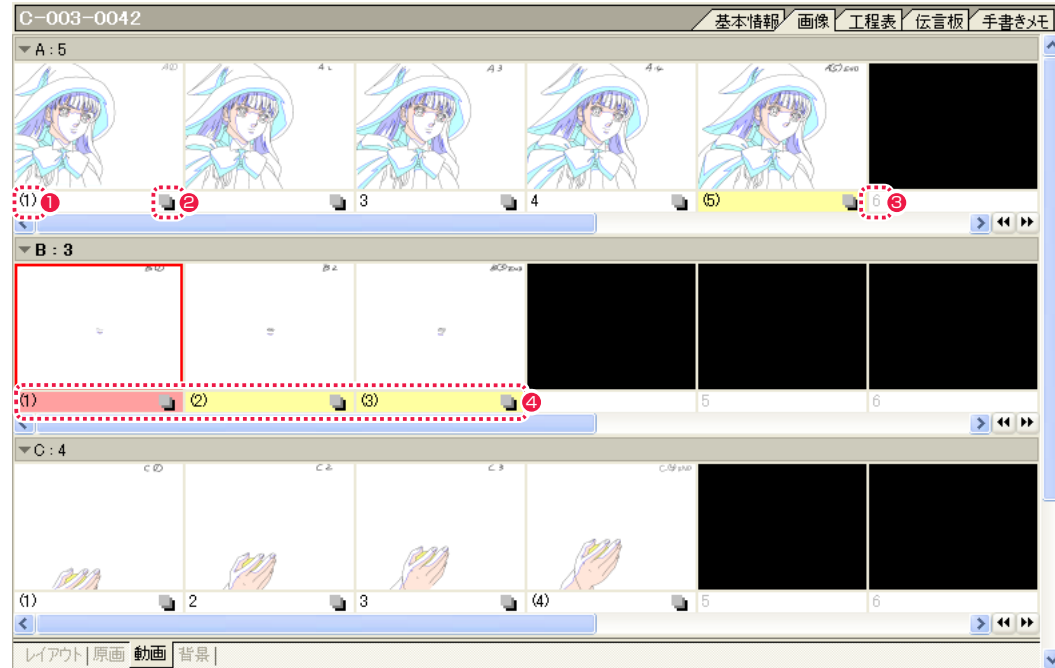
[全ての枠を印刷する]: オン

Step: ファイルブラウザ 02

ファイルブラウザに追加・修正された新機能を説明します。基本的な操作の詳細は、「STYLOS ユーザーガイド」の第3章「RETAS STUDIOの基本」→「step:03 ファイルブラウザ」を参照してください。

▶ 画像の閲覧（セルバンク）

[画像]タブの[セルバンク]に、原画の番号にカッコをつけて表示する機能が追加されました。ここでは、[セルバンク]に表示される他の記号などもあわせて説明します。



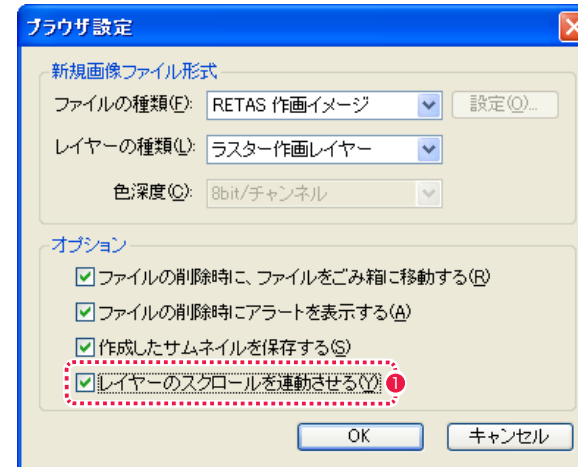
- ① トレース元の原画の番号と、トレース先の動画の番号にカッコがつきます。
- ② 影指定が含まれる画像には印がつきます。
- ③ セル画像がない部分にもセル番号が表示されます。
- ④ [セル]ウィンドウを表示しているとき、編集中の画像とライトテーブルに登録された画像については、画像表示エリアのセル番号表示部に色がつきます。
赤：編集中の画像
黄：ライトテーブルに登録した画像

POINT ▶▶▶

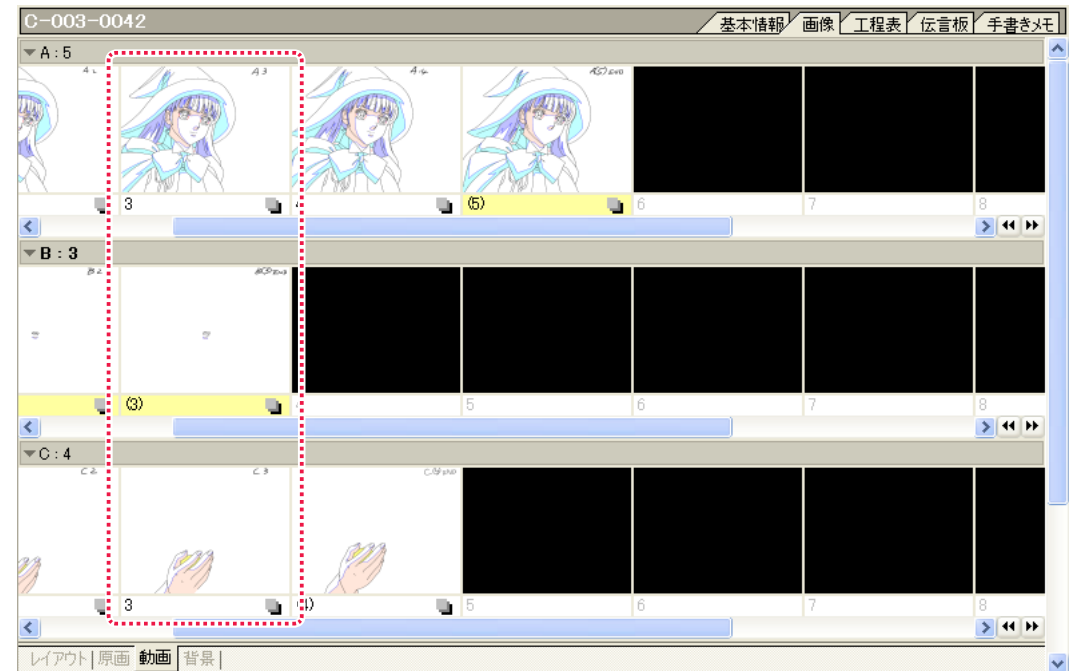
これらの機能は、STYLOSの[ファイルプレビューワー]と連動します。

▶▶ レイヤーのスクロールを連動させる

[ブラウザ設定]ダイアログに、[レイヤーのスクロールを連動させる]が追加されました。



- ① レイヤーのスクロールを連動させる
オンにすると、[画像]タブ内に表示されているレイヤーをスクロールした場合に、全てのレイヤー表示が連動して移動します。例えば、Aセルの3番、Bセルの3番、Cセルの3番が常に縦に同じ位置で表示されます。

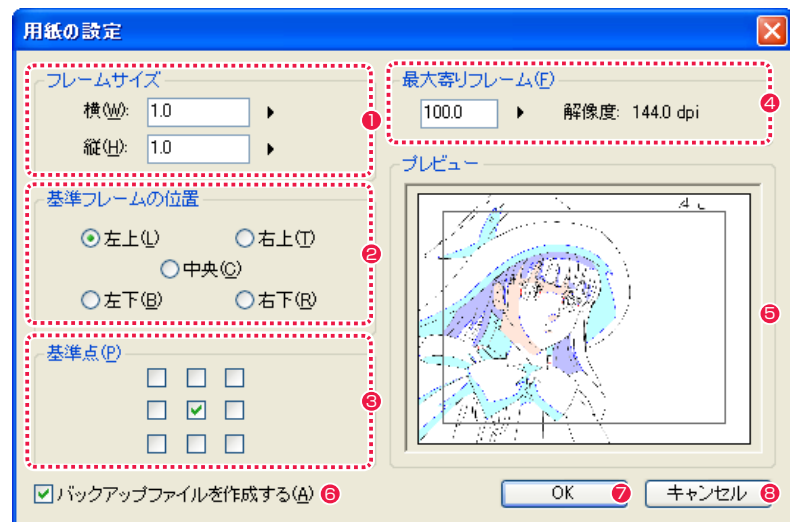


POINT ▶▶▶

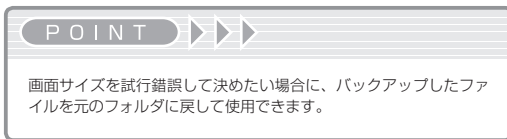
この設定は、STYLOSの[ファイルプレビューワー]にも反映します。

▶ 用紙の設定ダイアログ

[用紙の設定] ダイアログにプレビューが追加され、レイアウトが変更になりました。ここでは、新しい[用紙の設定] ダイアログ全体を説明します。[用紙の設定] ダイアログは、[セル]メニュー→[用紙設定...]を選択すると表示されます。

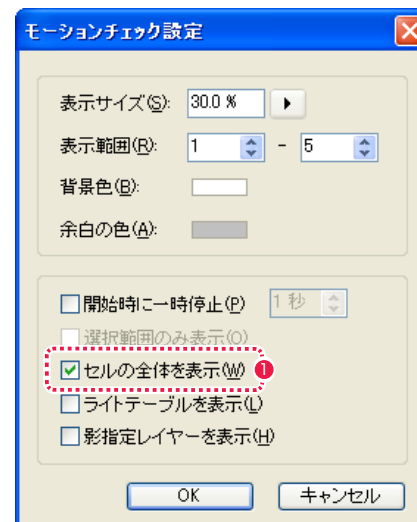


- 1 フレームサイズ
作作用紙フレームの縦横比を設定できます。
- 2 基準フレームの位置
従来の[フレーム設定]が[基準フレームの位置]に変更されました。
ラジオボタンをクリックすると、基準フレームを配置する位置を[左上]・[右上]・[中央]・[左下]・[右下]から選択できます。
- 3 基準点
従来の[配置]が[基準点]に変更されました。
チェックボックスをクリックすると、用紙サイズが変更される場合の基準点を選択できます。
- 4 最大寄りフレーム
数値を入力すると、トラックアップ(T.U.)またはトラックバック(T.B.)があるカットで、最大に寄ったサイズをスタンダードサイズ(100 フレーム)と同じ大きさにするように自動調整できます。
- 5 プレビュー
設定を変更したあとのフレームサイズや、基準フレームの位置などをプレビュー表示します。
- 6 バックアップファイルを作成する
オンにすると、バックアップファイルを作成します。バックアップファイルは、[Backup] フォルダを作成して保存されます。
- 7 [OK]
クリックすると設定が反映され、ダイアログが閉じます。
- 8 [キャンセル]
クリックすると設定がキャンセルされ、ダイアログが閉じます。

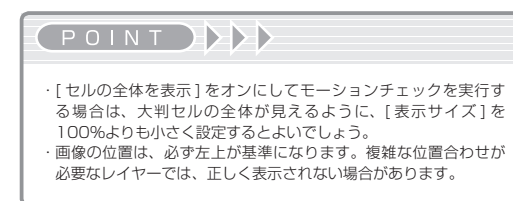


▶ 表示セルのモーションチェック

[モーションチェック設定] ダイアログに[セルの全体を表示]が追加され、大判など画像サイズが異なるセルが混ざった場合に、画像全体を表示したモーションチェックが可能になりました。

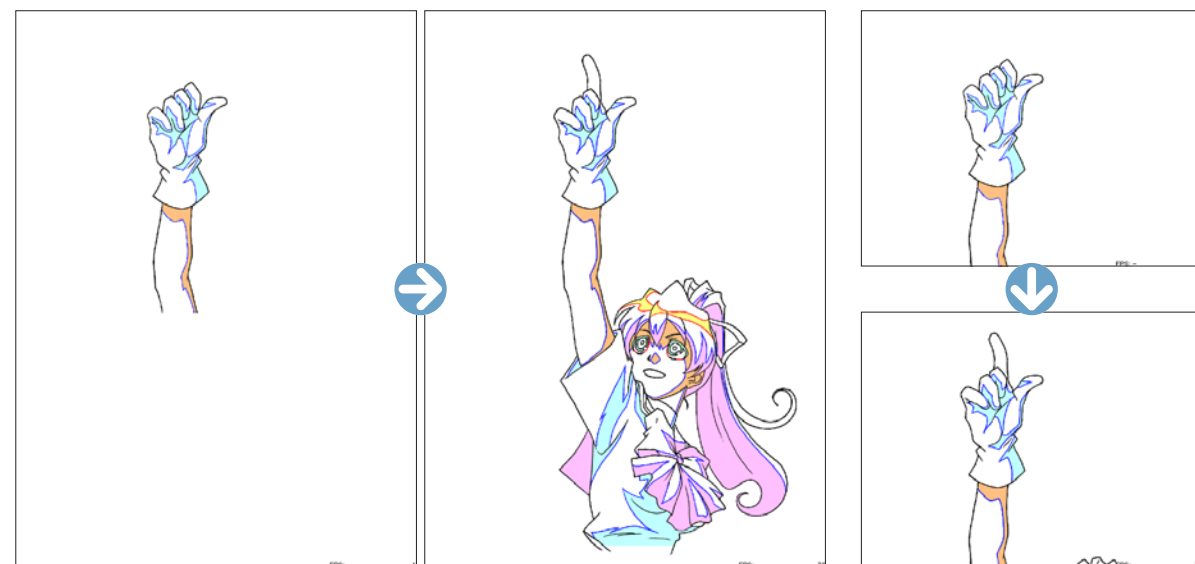


- 1 セルの全体を表示
オンにすると、モーションチェック時の表示対象が、レイヤーに登録された最も大きい画像の全体のサイズになります。
オフの場合は、モーションチェックを開始したセルのサイズが表示対象になります。



例

スタンダードサイズでFIXのまま手の演技があったあと、TILT DOWNして人物のバストアップになるカット。
演技する手はスタンダードサイズで作画、TILT DOWN寸前から最後までを大判で作画した場合。



[セルの全体を表示]: オン
スタンダードサイズで作画された部分も大判サイズで表示されます。

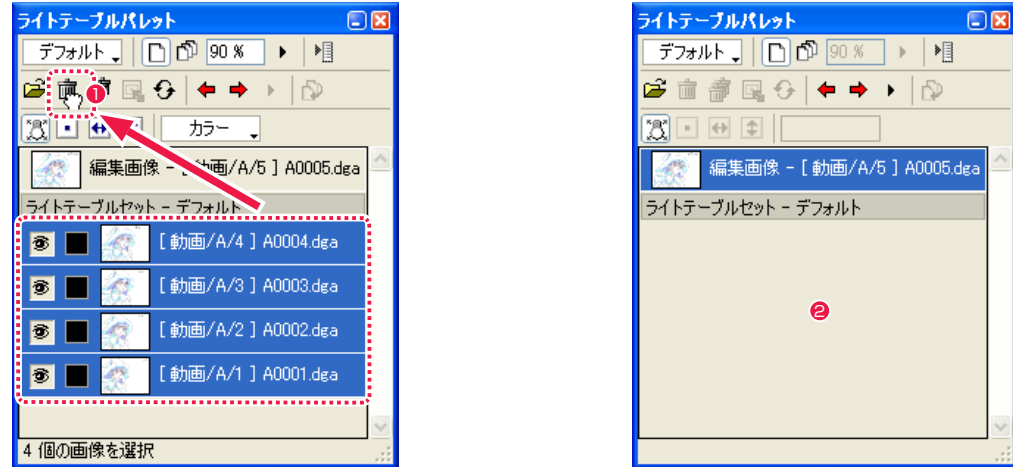
[セルの全体を表示]: オフ
スタンダードサイズで作画された部分からスタートするので、大判で作画された部分もスタンダードサイズのまま表示されます。

Step: **その他の新機能**
05

その他に追加・修正された新機能を説明します。

▶ **ライトテーブルの画像を削除**

ライトテーブルに登録された画像を、ドラッグ & ドロップで削除できるようになりました。

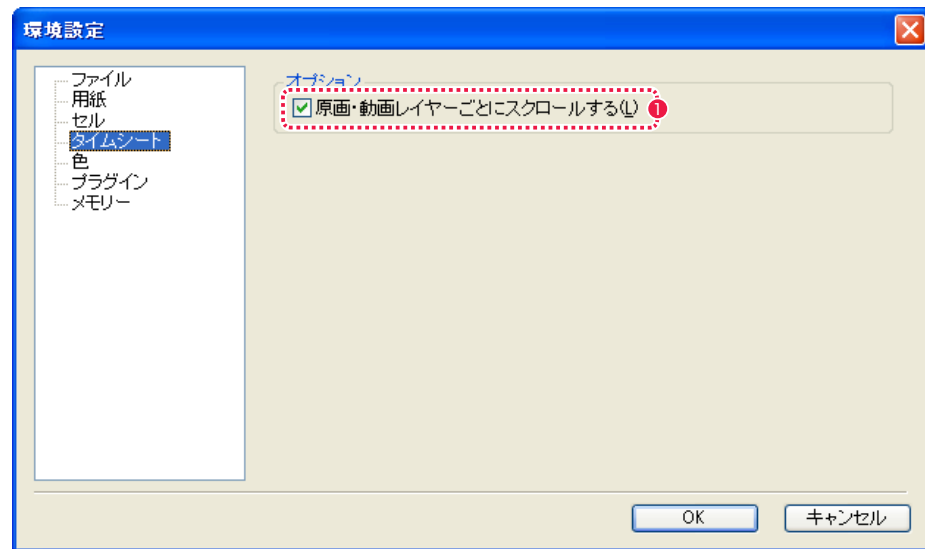


① ライトテーブルに登録された画像を選択し、[削除] ボタンへドラッグします。

② [削除] ボタンの上でドロップすると、登録された画像が削除されます。

▶ **環境設定ダイアログ**

[環境設定] ダイアログの [タイムシート] に、[原画・動画レイヤーごとにスクロールする] が追加されました。



① 原画・動画レイヤーごとにスクロールする
オフにすると、タイムシート上のレイヤーの列に関係なく、ウィンドウのサイズを変更できます。



注意:

- ・タイムシートを閉じて再度開く、または新規のタイムシートから変更が適用されます。
- ・機能の詳細は、『Step:01 タイムシート』→『タイムシートウィンドウのリサイズ動作』を参照してください。

▶ **カットフォルダの新規作成**

[作画カットフォルダ] ダイアログに、[BG を含める] チェックボックスが追加されました。



① BG を含める

オンにすると、[レイヤー数] に入力した数に [BG] レイヤーを含めて、レイヤーを作成します。[BG] レイヤーは BG = 背景画像が登録されます。図のように「4」を入力した場合、[BG] レイヤーと [A]・[B]・[C] レイヤーが作成されます。オフにすると、[レイヤー数] に入力した数に [BG] レイヤーを含まずに、レイヤーを作成します。図のように「4」を入力した場合、[BG] レイヤーと [A]・[B]・[C]・[D] レイヤーが作成されます。

POINT ▶▶▶

- ・カットフォルダには、[Layout]・[BG]・[Key Animation]・[Inbetween] の 4 種類のフォルダが必ず作成されます。
- ・BG only の場合は、レイヤー数を「1」、[BG を含める] をオンにします。この場合、[Key Animation]・[Inbetween] は空のフォルダになります。

Stylos User Guide

Copyright © CELSYS, Inc. All Rights Reserved.



RetasStudio.net
<http://www.retasstudio.net/>

2009年12月 初版発行 (Ver.2.5.3)

発行者・発行所 株式会社セルシス

● RetasStudio など、弊社ソフトウェアに関するお問い合わせは、下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。
(お問い合わせ窓口)
e-mail : tech@celsys.co.jp

-
- 本書（データである場合も含む）は、法律の定めのある場合または権利者の承諾のある場合を除き、いかなる方法においても複製・複写することはできません。
 - 本書（データである場合も含む）は、2009年12月現在の製品プログラムをもとに執筆編集されており、実際の製品プログラムの仕様と異なっている場合があります。
 - CELSYS、RetasStudio、Stylos は、株式会社セルシスの商標または登録商標です。
 - その他、記載されております会社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。
-